

第 21 回横浜祭カーボン・オフセット実施結果

はじめに

皆様のご協力をおもちゃして第 21 回横浜祭カーボン・オフセットが成功し、無事オフセットを終えることができたことをここにご報告いたします。募金にご賛同いただきました皆様をはじめ、関係者の皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

I. 横浜祭の概要

項目	内容	備考
開催日時	2017 年 6 月 10 日 (土) 12:00~19:00 2017 年 6 月 11 日 (日) 10:00~19:00	6 月は環境月間にあたるので、その点配慮されている。
開催場所	東京都市大学環境学部横浜キャンパス	神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1
来場者数	10924 人	総来場者数として、学園祭スタッフや関係するスタッフの総人数としてカウントしている。
構成組織	学園祭実行委員会 学園祭運営委員会	実行委員会と運営委員会が組織として存在する。 運営委員会が実行委員会の下部組織に当たる。 実行委員会は予算の認証、実行の権限をもち、運営委員会は当日の運営・事前準備を行なう。
準備期間	1 年 (学園祭自体を指す)	特に動ける準備期間としては春休み期間の 4 ヶ月間

横浜祭は環境配慮型学園祭としても有名です。それは、DRP やゴミナビゲーション、ウォーターフットプリントが実施されているためです。

特に DRP は全国の大学で一番初めに導入され、現在様々な大学で実践されています。

当日、学内の展示スペースにて、学生スタッフが随時対応をしました。

今年度のブースでは、「歴史」をテーマにお客様が目で見分けるような展示を行いました。また、お客様ができるカーボン・オフセットの一例として「クレジットの購入」を紹介し、お金や権利をものに見立ててご紹介しました。そして、協力して下さったお客様から協力金として募金をしていただき、オフセット金を集めました。

II. 横浜祭カーボン・オフセットの概要

調査対象日時	2017年 6月 9日 16:45～6月 12日 14:00 まで 学園祭実行委員会と大学との取り決めにより、大学貸し出し時間と大学返還時間。(10日は準備日、13日は片付け日)
カーボン・オフセットブース数	1ヶ所(2号館前)
カーボン・オフセットブース来場者数	計 214人(来場者総数の約 1.9%)

CO ₂ 排出量算定結果	⇒ 32.04 t
植林本数	⇒ 210 本
植林範囲	⇒ 0.1ha
募金金額合計	⇒ 76211 円
オフセット金額	⇒ 77258 円
カラマツ 210 本	
二酸化炭素 (CO ₂) を 20 年かけて	
全量オフセットします。	

オフセット金額に募金額が足りていない分は、横浜祭実行委員会の予算より出しました。植林を行う森は、「サミットの森」と呼ばれるカーボン・オフセット事業の役割を持つ森です。「サミットの森」とは、「環境負荷を低減したいと考えている企業や個人に

資金を募り、そのお金をもとに北海道の市町村などと協力して植林、間伐などの森林管理を行うことにより CO₂を吸収するカーボン・オフセット事業のこと」です。この事業は地域経済に着実に貢献し、オフセットされたものが着実に地元に遺産として残るという意味を込めて「レガシー・カーボン・オフセットサミットの森」と名付けられています。このサミットの森の一部に「武蔵工業大学横浜祭レガシー・カーボン・オフセットプロジェクト」の森として植林を行っています。

植林の様子（2017年 10月 29日）



活動量と CO2 排出量と割合

中項目	活動量	単位	総排出量 (kg)	排出量割合
電力	31794.00	kWh	13418.87	42.2%
水道	151.00	m ³	107.15	0.7%
都市ガス	82.5	Nm ³	196.41	0.6%
移動	110928	人・km	4257.33	13.3%
ペットボトル	100.7	Kg	960.289	3.0%
アルミ缶	14.8	Kg	203.01	0.6%
スチール缶	3.8	Kg	29.45	0.1%
ビン	21.2	Kg	31.14	0.1%
模擬店食品			723.35	2.3%

プロパンガス	85.7	Nm ³	97.36	0.3%
レンタル品			208.16	0.6%
全体			1185.12	3.7%
発展			491.35	1.5%
開発			301.57	0.9%
広報			1074.59	3.3%
管理			951.77	2.3%
協賛品			6598.8	20.5%
可燃物	658.9	Kg	1392.8	4.3%
不燃物	273.1	Kg	591.2	1.8%

留意点

- 1) Nm³とは標準状態(0℃・1気圧)における気体の体積を表す単位で「ノルマル立米」と読む。
- 2) 今回の算定で用いた原単位は、原則として日本国内の平均的な、あるいは一般的と考えられる数値を用いている。
- 3) 環境省ガイドラインより、CO₂排出量の値は有効数字 2桁としている。

終わりに

本カーボンオフセットプロジェクトを実施するにあたり、多くのご協力をいただきました。特に 伊坪研究室の皆様には、二酸化炭素排出量の算定を手伝っていただいたことにお礼を申し上げます。

本プロジェクトは、横浜祭でこれからも、継続して実施していきます。より参加者皆様のご支持を得られるよう、学生プロジェクトチームとして全力で取り組んでいきます。

今回の植林では第1回カーボンオフセット担当を務めていた堀口建様、伊坪研 OB の北村祐介様も手伝ってもらい、改めてカーボンオフセットを学園祭で企画として行っているのかを再確認して、これまでの10年からこれからの生かせる教えを数多くいただきました。

また、学園祭カーボン・オフセットの成功には、運営側だけでなく、ご来場のみなさまをはじめ、模擬店団体、企画団体、教職員の方々、地域のみなさまなど、横浜祭参加者全員のご協力が必要です。横浜祭が持続可能な社会構築への架け橋となるために、心から皆様のご協力をお待ちしております。